

涸沼民報

2017年
7月30日
第142号

日本共産党
茨城町支部
〒311-3157
茨城町小幡1026
Tel/Fax
029-292-5278
090-3579-0147
keiko.klear@gmail.com

政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぶ

しんぶん赤旗
日刊●月 3497円
日曜版●月 823円

子育て支援、平和教育、がん検診・教育、安定ヨウ素剤配布、大洗の核施設事故…



6月8日～15日までの8日間、茨城町議会第2回定例会が開かれ、平成29年度一般会計補正予算など4議案が審議され、承認・採択されました。

一般会計補正予算の主なものは、道路維持作業車整備事業費や消防ポンプ自動車整備事業費などです。また人事案件では、茨城町教育委員会委員として、坂場克身氏

子どもたちの健やかな成長のために

子育て支援の充実を

川澄町議は、子育て包括支援センターの早期開設について、「妊娠から子育て期まで、切れ目のないワンストップの子育て支援に取り組む自治体が増えていきます」として、茨城町における妊娠から子育て期までの取り組みの具体的な内容について健康増進課や子育て支援センター、子ども課など、関係部署の連携はどのように行われているか質したうえで、「妊娠から子育てまでの切れ目のない支援のためには、子育て世代包括支援センターを設置し、窓口を一本化する必要があります。子育て支援をさ

平和教育の充実を

次に、平和教育の充実について、「戦争を体験した方々の高齢化が進み、子どもたちに今後、平和の尊さをどう伝えていくかが課題となっています」として、水戸市などで行われている子どもたちの代表を平和大使として、茨城町に派遣していることについて、茨城町において、平和大使の広島派遣を提案しました。また、「戦争体験者の体験集や聞き書きなどを授業で取り上げるなど創意工夫して、平和教育を充実していただきたい」と要望しました。

(海老沢)が選任されました。川澄敬子町議は一般質問で、1. 子どもたちの健やかな成長のために ①子育て世代包括支援センターの早期実施、②平和教育の充実、2. がん検診率の向上・がん教育について、3. 住宅の耐震改修補助について、4. 原子力問題について ①安定ヨウ素剤の備蓄と緊急時の配付計画、②高速実験炉「常陽」再稼働問題、③原子力機構大洗研の被ばく事故について質問しました。

茨城町6月議会

「東海第二原発運転延長反対意見書」を全会一致で採択できました。

茨城町議会議員 川澄敬子

議会最終日、議会運営委員長から提出された「運転開始から40年を超えた東海第二原発の運転延長を行わないことを求める意見書」が、本会議で全会一致で採択されました。提案理由は、久保田副議長が述べましたが、昨年10月に福島県浪江町・双葉町を視察したことに触れ、「悲惨な現状を目の当たりにした」と述べています。

この意見書については、昨年の9月議会で、「安全協定の見直し」あるいは「20年運転延長反対」の請願を出したいと議会運営委員長に相談したところ、「これは大事な問題だ。充分話し合いをして、全員一致で意見書を作ろう」と提案されました。その後、12月議会・3月議会の話し合いを経て、この議会で採択となりました。

いろいろな立場を超えて、全会一致で意見書を採択できたことは、ほんとうによかったと思います。(意見書全文は、町議会の「議会だより」に掲載されています)

理栄養士、保育士が、子どもの発育、発達状況の観察や育児相談、健康講話等を行っている。健康増進課と子ども課では、養育支援を必要とする家庭の情報を共有し、家庭訪問を行うなどの対応をしている。利用者にとって窓口が複数あることは不便を来している面もあることから、「子育て世代包括支援センター」の設置は、組織機構や設置場所等の課題を整理し、検討していく」と回答しました。

上田和則教育部長は、「戦争を体験した方々の高齢化とともに戦争の悲惨さが風化されるなか、子どもたちに対する平和に関する教育の大切さについて十分承知している。学校で平和の尊さを伝える取り組みとして、国語科や社会科の授業で映像や写真などの資料を活用し、平和の尊さについて十分に学んでい

る。今後も様々な機会を利用して、平和教育の充実に向けてまいりたい。平和大使の広島派遣は、近隣市町村の状況等を勘案しながら今後の検討課題とする」と回答しました。

「いのち輝くいばらきの会の鶴田まこみさんってどんな人ですか？」… ご紹介します。



鶴田まこみさん

プロフィール 本名 坂本真子美/昭和39年生。52歳/東京外国語大学大学院卒/武蔵野音楽大学イタリ語講師/『動物愛護を考える茨城県民ネットワークCAPIN』理事長/『いのち輝くいばらき』の虐待防止ネットワーク「あいのり」発起人 家族 夫(坂本博之弁護士・ゴミ問題弁護士連絡会事務局長)、24歳の長男、保護猫35匹とともに、つくば市に暮らす。

信条 道なきところに道を作り、人と人をつなげる活動を積み上げてきました。あらゆる生命が大切にされる社会をめざして、皆さんの声を全身で聞き、誠意働きます。 ・老朽化した東海第二原発は再稼働させません。 ・税を公平に分かち合い、弱者を切り捨てない県政に。 ・年金・介護・福祉を充実させ、高齢者の皆様のくらしの安心を守ります。 ・農業や観光の発展、新しい産業の振興で、夢のある新しい茨城を育みます。